

鉄道車両事業

当社は1896年の創立以来、鉄道車両の製造を手掛け、国内外の鉄道事業者に多くの車両を提供してきました。昨年度、東海道新幹線は60周年、山陽新幹線は50周年を迎えましたが、当社は新幹線電車4,500両の製造実績を持つトップメーカーとしてその歴史とともに歩んできました。今後も多様なニーズに応えるため、技術開発を推進するとともに安全で高品質な車両を提供していきます。

常務取締役 鉄道車両本部長 阿彦 雄一



外部環境認識

鉄道をご利用されるお客様は、コロナ前の水準近くに回復しているところですが、受注産業で納入までのリードタイムが長い鉄道車両においては生産量の回復に至っていません。また、テレワークの普及など働き方の変化により、鉄道に求められるニーズも変化していると考えています。このため、製造メーカーとしては新たなニーズを把握し、しっかりと応えていくこと、技術開発を進め付加価値

を高めることが不可欠です。

一方、労働人口の減少に伴う人手不足の課題も顕在化しつつあることから、運行やメンテナンスなどのオペレーションにも目を向け、車上のセンサを活用した状態監視、画像解析手法などを用いた検査方法の見直し、鉄道車両の省力化・効率化に繋がる技術開発に取り組んでいます。

今後の戦略

当社は、新幹線車両や特急型、通勤型、事業用車両等、幅広い車種に対応できる強みを活かし、人と環境にやさしい新たな技術の開発、品質向上、低コスト化、業務効率化に磨きをかけることで、社会基盤の充実と発展に幅広く貢献していく鉄道車両メーカーを目指します。

鉄道の安全で安定した運行を支えるため、高品質な製品を納めることが最優先です。図面の3D化、タブレットを用いたマニュアルや図面の画像伝送デジタル技術の活用などにより作業性の向上、情報の可視化を図り、車両品質の向上に努めます。車両メンテナンスに活用するためのデータ分析や画像解析技術、AIの設計活用など新しい手法の研究・導入に取り組むとともに、“人と環境にやさしい”車両を目指し、車内快適性向上、車両の軽量化・省エネ化などの開発も継続していきます。当社主力製品の新幹線でも、より快適な車内環境の創出に向けて積極的に取り組む他、快適性と環境性能の両立を目指した次世代高速車両の開発にも取り組みます。また、2024年に受注した台湾向け新型高速鉄道車両製作を着実に進めます。山梨リニア実験センターで走行試験中のリニア中央新幹線も車両技術のさらなるブラッシュアップを図っていきます。

また、労働人口減少を見据えたニーズを捉えて新たな価値の創造に取り組み、車両の省メンテナンス技術

や状態監視など、新しい価値の提供に向け開発を続けます。

これからも、付加価値の高い製品・サービスを提供し、社会基盤の充実と発展に幅広く貢献していくことで事業価値を高められるよう取り組んでいきます。



JR東海/JR西日本
N700S新幹線



MRT
(ジャカルタ都市
高速鉄道
南北線向け電車)
credits to PT Mass
Rapid Transit Jakarta
(Perseroda)



リニア車両
(L0系改良型試験車)
提供：JR東海

建設機械事業

建設機械事業は、道路・橋梁などの社会インフラや高層ビル・戸建て住宅の基礎工事に使われる基礎施工機械を製造・販売しています。特に主力製品である三点式大型杭打機においては、国内市場で100%に近いシェアを誇り、私たちは業界のリーディングカンパニーです。社会インフラの基礎工事では杭の大径化が進む一方、都市再開発では狭隘地での施工や取り壊した建物の基礎を取り除く障害撤去のニーズが高まっています。また、人手不足に対応するための自動化や、脱炭素社会に向けた電動化など、様々なニーズに対応していきます。

常務取締役 建設機械本部長 富田 庸公



外部環境認識

建設機械業界において社会インフラ整備や都市再開発は、当面、継続的に進行する見込みから、国内の市場展望は今後も建設需要を安定して支える底堅い状況であると認識しています。

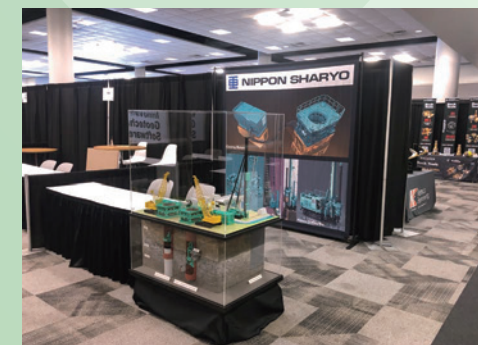
一方で、深刻化する国内建設業界の労働力不足を背景に、建設機械のさらなる施工効率化や自動化への期待が高まっています。

海外では、最大の輸出先であった韓国の市況が低調であり、その背景には大型建設工事の停滞や不安定な政治情勢、金利の上昇などが挙げられ、建設投資の減少により建設機械需要が縮小しています。これに代わる市場の開拓が急務であることから、インフラ投資の増加が期待される米国や台湾の市場動向も注視しています。

今後の戦略

建設機械事業においては、この外部環境を踏まえ、持続的な成長を目指して積極的な戦略と技術開発を進めています。まず、国内向けのニーズに応えるべく施工支援システムの高度化を積極的に進めています。特に、ICTやAIを活用した自動化に関する技術開発は、労働力不足に対応するとともに施工の効率化を促進し、お客様の競争力を高めます。

海外市場については、米国ではインフラ投資促進法の施行による本格的な公共工事の拡大を見越し、展示会への出展を通して当社製品の認知・提案活動を強化しています。また、台湾についても、国策として強化している高度産業に関するインフラ整備や工場建築などが支える建設需要を注視しています。



展示会の様子



掘削試験場活用イメージ



三点式大型杭打機